

カナダ ブリティッシュコロンビア州のサクランボに強い需要の予想

[FreshPlaza](#) 2025年5月19日

ブリティッシュコロンビア(BC)州の生産者と梱包業者は、2024年の壊滅的なサクランボシーズンの後、今年は通常のシーズンになって欲しいと願っている。ワールドフレッシュエクスポート社のリッキー・チョン氏は「冬の間、穏やかな気象条件に恵まれ、最適な低温時間があった」と話す(以下「」は同氏の話)。冬の後、サクランボの品質の向上に繋がる涼しい春の気温が続いた。「その結果、2025年には記録的な収穫量になると予想しており、出荷量は20ポンド(約9kg)箱で500万箱と推定されている。エルニーニョとラニーニャによる異常な気象パターンが5年間続いた後、今年は待ち望んでいた平年並みのシーズンになりそうだ。」

BC州のサクランボ生産者達のカウントダウンは、南オカナガンバレー地域で最も早い品種が収穫されるまで4週間もない。「我々は、南部のオソヨース地域でティエトン、シルビア、サンティーナ及びクリスタリーナの各品種の収穫が6月10日に開始されると予測している。」収穫は、170キロメートル北のバーノン地域で終了する8月下旬または9月上旬まで続く。晩生のサクランボ品種は、スキーナ、ラパン、クートニー、レジーナ、スイートハート、ソブリン、センテニアル、スタッカート等である。

国内及び輸出向けの需要

カナダの小売業者達は、米国のトランプ大統領への反発により、BC州産のサクランボに対する異常に高い需要があると予測している。「カナダの消費者は、自国の生産者と『地産地消』運動を支持している。」今シーズンはさらに、特に米国から輸入されるサクランボに対する高い関税率のため、チョン氏は中国からの強い需要を目の当たりにしている。現在、米国産サクランボの関税率は約54%である。中国の多くの最大手輸入業者の代表団が来月BC州を訪問し、続いて韓国と日本からもやって来る。トルコとギリシャのサクランボの出荷量がこの春の寒さの影響を受けたため、ヨーロッパと中東では晩生のサクランボの供給が逼迫すると予想される。

昨年秋にBC果樹協同組合(BCTF)が解散したため、ワールドフレッシュ社は今シーズンのサクランボの取扱量を増やすことができた。「弊社では、多くの元BCTF組合員を支援し、潜在的な損失を避けたいと考えている。」同社はさらに、ポーチバッグ、クラムシェル及び1kg入り木製ギフトボックスを用意し、カナダでの国産サクランボの販売プログラムを強化した。「非常に高い需要を予想しているが、様々な包装形態の選択肢により、シーズンを通じて販売が安定し、供給過剰になった場合の対応に役立つ。」

周年供給

シーズンを延長し、着荷時の最適な品質を保証するために、同社はこの夏、MAコンテナを使った試験を実施する。「この技術により、サクランボを30〜60日間保存し、供給過剰を回避することで作物をより効率的に管理することができる。さらに、MA技術により、カナダ産サクランボのシーズンを延長し、海外での着荷を10月まで遅らせる。これは弊社にとって非常にエキサイティングな進歩であり、この技術を世界中で実装し、最終的には新鮮なサクランボを12カ月供給することを目指している。」

執筆者: マリーケ・ヘムズ (翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)